

# 登園届

登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。（登園のめやすは子どもの全身状態が良好であることが基準です。）なお、この登園届には通院を証明できるもの（領収書の写し等）を添付してください。

登園届（保護者記入）		
天林寺こども園 園長 行		
病名「	入所児童氏名	
年 月 日 医療機関名「	」と診断され、	
」において		
病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。		
年 月 日		
保護者氏名		印又はサイン

認定こども園は乳幼児が集団で長時間生活をともにする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが1日快適に生活できることが大切です。

認定こども園入所児がよくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、認定こども園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症

感染症名	感染しやすい時期	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24時間経過を経て、熱がなく全身状態良好な場合
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること（目安として咳が1時間に1回程度になっていること）
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の一週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが、数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
帯状疱疹しん	水疱を形成している間	全ての発疹が痂皮化してから
突発性発しん		解熱し、機嫌が良く全身状態が良いこと
伝染性膿痂疹（とびひ）		治療を開始しており、皮膚が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること
RSウイルス感染症	呼吸器症状（ヒューヒューという呼吸音、咳、痰）	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと

## 意見書

天林寺こども園 園長 様

園児氏名

病名

月 日から症状も回復し、集団生活に支障が無い状態になったので登園可能と認めます。

年 月 日

医療機関

医師名

印またはサイン

園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行は出来るだけ防ぐことで、子ども達が一日快適に生活できる事が大切です。園児がよくかかる下記の感染症につきまして意見書(診断書)の提出をお願いいたします。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能な状態となってからの登園であるようにご配慮ください。

★医師が記入した意見書が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後4日後まで	解熱後3日を経過してから
風疹	発疹出現数日前から後5日間くらい	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう)	発疹出現2日前から痂皮形成まで	全ての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症2日前から耳下腺腫脹後5日	耳下腺の腫脹が消失してから
結核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血、咽頭発赤など症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血・眼脂など症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること(抗菌薬を決められた期間服用する。5日間服用後、医師の指示に従う)
腸管出血性大腸菌感染症(O-157など)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によつていずれも菌陰性が確認されたものの。